

6節 仕上塗材仕上げ15.6.1
一 般 事 項

この節は、建築用仕上塗材を用いる内外装の仕上工事に適用する。

15.6.2
材 料

(1) 仕上塗材

- (ア) 仕上塗材は、JIS A 6909(建築用仕上塗材)による。ただし、内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量は、**特記**による。**特記**がなければ、F☆☆☆☆とする。
- (イ) 仕上塗材は表15.6.1により、種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法は**特記**による。
- (ウ) 仕上塗材の製造所において指定された色、つや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。
なお、下塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。
- (エ) 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合はJIS A 6909に基づく[調湿形]の表示のあるものとし、適用は**特記**による。
- (オ) 内装薄塗材Wをコンクリート、セメントモルタル等のアルカリ性の下地に適用する場合は、JIS A 6909に基づく[耐アルカリ性試験合格]の表示のあるものを用いる。
- (カ) 内装薄塗材Wは、JIS A 6909に基づく[かび抵抗性]の表示のあるものを用いる。
- (キ) 複層仕上塗材の耐候性は、**特記**による。
- (ク) 複層仕上塗材の上塗材は表15.6.2により、樹脂、外観及び溶媒の種類は**特記**による。
- (ケ) 増塗材は、主材基層塗りに用いる材料とする。
- (コ) 設計図書に定められた防火材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

* 1 F☆☆☆☆:内装に制限なく使用可

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.1 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法(その1)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	※SKK該当製品	
薄付け仕上塗材	外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	セラミタイトリシン	
		ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	————	
	可とう形外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	————	
		ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	————	
	外装薄塗材 E	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	シボカケンDO シボカケン#500撥水	
		平たん状 凹凸状	こて塗り	————	
		ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	シボロール	
	可とう形外装薄塗材 E	着色骨材砂壁状		吹付け	セラスカケン
				こて塗り	————
		砂壁状 ゆず肌状	吹付け	ソフトリシン セラミソフトリシン	
		平たん状 凹凸状	こて塗り	————	
		ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	ソフトロール レナクイックローラー用	
		ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	セラミクリーン〔つや有〕 ニュートップレスクリーン〔つや有〕	
	防水形外装薄塗材 E		吹付け	セラミクリーンタイル〔つや有〕 ニュートップレスクリーンタイル〔つや有〕	
		凹凸状	吹付け	————	
外装薄塗材 S	砂壁状	吹付け	————		
	凹凸状	吹付け	————		
内装薄塗材 C 内装薄塗材 L	平たん状 凹凸状	こて塗り	————		
	ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	————		
内装薄塗材 Si	砂壁状じゅらく ゆず肌状	吹付け	————		
	平たん状 凹凸状	こて塗り	————		
	ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	————		
内装薄塗材 E	砂壁状じゅらく ゆず肌状	吹付け	シボカケン#300 SK調湿ウォール		
	平たん状 凹凸状	こて塗り	SK調湿ウォール		
内装薄塗材 W	ゆず肌状 さざ波状	ローラー塗り	————		
	京壁状じゅらく ゆず肌状	吹付け	————		
	平たん状 凹凸状	こて塗り	————		

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.1 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法(その2)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	※SKK該当製品
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し 凸部処理	吹付け	_____
		平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	_____
	外装厚塗材Si	吹放し 凸部処理	吹付け	_____
		平たん状 凹凸状 ひき起こし	こて塗り ローラー塗り	_____
	外装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	シボロック ソフトスタック セラミソフトスタック
		平たん状 凹凸状 ひき起こし	こて塗り ローラー塗り	_____
	内装厚塗材C	吹放し 凸部処理	吹付け	_____
		平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	_____
		平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	_____
	内装厚塗材L 内装厚塗材G	吹放し 凸部処理	吹付け	_____
平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし		こて塗り	_____	
内装厚塗材Si 内装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	_____	
	平たん状 凹凸状 ひき起こし	こて塗り ローラー塗り	_____	
	凸部処理 凹凸状	吹付け	ミラクマウント	
	ゆず肌状	ローラー塗り	_____	
複層仕上塗材	複層塗材RE	凸部処理 凹凸状	吹付け	レナキャスト
		ゆず肌状	ローラー塗り	レナキャストホーロー
	複層塗材Si	凸部処理 凹凸状	吹付け	セラミタイトタイル セラミタイトタイルゆず肌
		ゆず肌状	ローラー塗り	セラミロール
	複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	レナラック ツークコートタイル*
		ゆず肌状	ローラー塗り	レナラックローラー用 ツークコートローラー用
	可とう形複層塗材CE	凸部処理 凹凸状	吹付け	_____
ゆず肌状		ローラー塗り	_____	

15章 左官工事 (6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.1 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法(その3)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	※SKK該当製品
複層仕上塗材	防水形複層塗材CE	凸部処理 凹凸状	吹付け	_____
		ゆず肌状	ローラー塗り	_____
	防水形複層塗材RE	凸部処理 凹凸状	吹付け	ダンツーカーキャスト*
		ゆず肌状	ローラー塗り	ダンツーカーキャストローラー用*
	防水形複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	レナフレンド レナエクセレント ダンツーカークリーン* ダンツーカーコート*
		ゆず肌状	ローラー塗り	レナフレンドローラー用 レナエクセレントローラー用 ダンツーカークリーンローラー用* ダンツーカーコートローラー用*
軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け	シポライトA
	こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り	_____

(注) 工法欄の吹付け、ローラー塗り及びこて塗りは、主材の塗付けに適用する。

* 「ツーカーコートタイル」、「ダンツーカーキャスト」、「ダンツーカーキャストローラー用」、「ダンツーカークリーン」、「ダンツーカーコート」、「ダンツーカークリーンローラー用」、「ダンツーカーコートローラー用」の主材所要量は、透湿性能を高める場合は、公共建築工事標準仕様書の規定の数値よりも少なくなります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.2 複層仕上塗材の上塗材の種類(その1)

樹脂 溶媒		外観	アクリル系			シリカ系
			つやあり	つやなし	メタリック	つやなし
溶剤系	SKK 該製品	硬質	○ (SKアクリルカラー★)	○ —	○ —	—
	防水形	(弾性カラーエナメル★)	—	—	—	—
弱溶剤系	SKK 該製品	硬質	○ (セラミタウンマイルド艶有り★)	○ (セラミタウンマイルド艶消し★)	—	—
	防水形	—	—	—	—	—
水	SKK 該製品	硬質	○ プリーズコート★ ツークコート上塗材艶有り★ (水性コンポアクリル★)	○ (水性コンポアクリル艶消し★)	—	○
		防水形	SK水性ELコート★	—	—	—

※()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

表15.6.2 複層仕上塗材の上塗材の種類(その2)

樹脂 溶媒		外観	ポリウレタン系		
			つやあり	つやなし	メタリック
溶剤系	SKK 該製品	硬質	○ (セラタイトU★) (ウレタンカラー★)	○ —	○ (SKファインメタリック★ -セラタイトUリキヤー仕上げ★) (SKファインメタリック★ -ウレタントップ仕上げ★)
		防水形	(弾性ウレタンカラー★)	—	—
弱溶剤系	SKK 該製品	硬質	○ クリーンマイルドウレタン★ (エスケー液NADウレタン★)	○ —	—
		防水形	弾性クリーンマイルドウレタン★	—	—
水	SKK 該製品	硬質	○ 水性コンポウレタン★	○ (水性コンポウレタン艶消し★)	—
		防水形	水性弾性コンポウレタン★ 水性ダンツークコート上塗材★ ダンツークキャスト上塗材★	—	—

※()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

15章 左官工事 (6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.2 複層仕上塗材の上塗材の種類 (その3)

樹脂 外観		アクリルシリコン系		
		つやあり	つやなし	メタリック
溶媒系	溶剤系	○	○	○
	硬質	(リリカタイトエナメル★) (セラタイトSi★)	—	(SKファインメタリック★ -セラタイトSiクリヤー仕上げ★) (SKファインメタリック★ -リリカタイトクリヤー仕上げ★)
弱溶剤	硬質	○	○	—
	硬質	クリーンマイルドシリコン★ (エスケープレミアムNADシリコン★) (一液マイルドシリコン)	—	—
水	防水形	—	—	—
	硬質	弾性クリーンマイルドシリコン★	○	—
SKK 該 製 品	硬質	水性セラミシリコン★ 水性セラタイトSi★ 水性コンボシリコン★ エスケープレミアムシリコン★	(水性コンボシリコン艶消し★) (水性セラミシリコン艶消し★) (エスケープレミアムシリコン艶消し★)	—
	防水形	水性弾性セラミシリコン★ 水性弾性セラタイトSi★ 水性弾性クールテクトSi★ 水性ダンツークート上塗材Si★ ダンツークキャスト上塗材Si★ 水性弾性コンボシリコン★ エスケープレミアムシリコン★	—	—

※()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

表15.6.2 複層仕上塗材の上塗材の種類 (その4)

樹脂 外観		ふっ素系		
		つやあり	つやなし	メタリック
溶媒系	溶剤系	○	○	○
	硬質	(セラタイトF★)	—	(SKファインメタリック★ -セラタイトFクリヤー仕上げ★)
弱溶剤	防水形	(弾性セラタイトF★)	—	—
	硬質	○	○	—
SKK 該 製 品	硬質	クリーンマイルドフッソ★	—	—
	防水形	弾性クリーンマイルドフッソ★	—	—
水	系	○	○	—
	硬質	水性セラタイトF★ スーパーセラタイトF★	—	—
SKK 該 製 品	防水形	水性弾性セラタイトF★ 弾性スーパーセラタイトF★	—	—

※()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

凡例 ○印：選択可能、一印：選択不可

(注) 1. つやなし及びメタリックは、防水形複層塗材には適用しない。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

- (2) 下地調整塗材は、JIS A 6916(建築用下地調整塗材)による。
- (3) 水は、15.3.2(2)による。
- (4) (1)から(3)まで以外の材料は、仕上塗材の製造所の指定する製品とする。

〔耐候形区分の目安〕

- ・耐候形1種：アクリルシリコン系、ふっ素系
- ・耐候形2種：ポリウレタン系
- ・耐候形3種：アクリル系、シリカ系

(耐候形区分とは複層仕上塗材の品質を評価するものとして、キセノンランプ法により、一定の時間照射後、塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級が1以下であるものをさす。1種は2500時間、2種は1200時間、3種は600時間と設定され、1種が最も耐候性が高い)

15.6.3
施工一般

- (1) 15.1.3の見本塗板は、所要量又は塗厚が工程ごとに確認できるものとする。
- (2) 仕上げ工程の放置時間等は、18.1.4〔施工一般〕(8)による。
- (3) 施工場所の気温が低い場合は、18.1.6〔施工管理〕(1)による。
- (4) 外部の仕上げ塗りは、降雨、多湿等により結露のおそれのある場合又は強風時には、原則として、行わない。
- (5) 仕上げに溶剤を用いる場合は、換気をよくして、溶剤による中毒を起こさないようにする。
- (6) 工程ごとの所要量等の確認を、15.6.7により行う。
- (7) シーリング面に仕上塗材仕上げを行う場合、シーリング材が硬化した後に行うものとし、塗重ね適合性を確認し、必要な処理を行う。

15.6.4
下地処理

- (1) モルタル、せっこうプラスター下地等で、ひび割れがある場合は、必要に応じて、U字形にはつり、仕上げに支障のないモルタル等で充填し、14日程度放置する。ただし、気象条件等によりモルタル等の接着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
- (2) 外壁のコンクリート下地等のひび割れの処理方法は、監督職員と協議する。
- (3) モルタル下地の仕上げは、表15.6.3により、仕上塗材の種類に応じた○印の仕上げとする。

15章 左官工事 (6節 仕上塗材仕上げ)

表15.6.3 仕上塗材の種類に応じたモルタル下地の仕上げ

仕上塗材の種類 (呼び名)	モルタル下地の仕上げ			備考
	はげ 引き	金ごて	木ごて	
外装薄塗材Si、外装薄塗材E、 外装薄塗材S、内装薄塗材Si、 内装薄塗材E、内装薄塗材W、 外装厚塗材Si、外装厚塗材E、 内装厚塗材Si、内装厚塗材E、 複層塗材CE、複層塗材Si、 複層塗材E、軽量骨材仕上塗材	○	○	○	薄塗材の場合は、 金ごて又は木ごて
内装薄塗材C、内装薄塗材L、 外装厚塗材C、内装厚塗材C、 内装厚塗材L、内装厚塗材G	○	—	○	薄塗材の場合は、 木ごて
可とう形外装薄塗材Si、 可とう形外装薄塗材E、 防水形外装薄塗材E、 可とう形複層塗材CE、 複層塗材RE、 防水形複層塗材CE、 防水形複層塗材E、 防水形複層塗材RE	—	○	—	—

- (4) ALCパネル下地の場合は、ALCパネル面の欠け、穴等を、ALCパネルの製造所の指定する補修モルタルで平滑にする。
- (5) 押出成形セメント板下地の場合は、押出成形セメント板面の欠け、表面の傷等を、押出成形セメント板の製造所の指定する補修材料で平滑にする。

15.6.5
下地調整

- (1) コンクリート面の下地調整は、次による。
- (ア) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
- (イ) 下地面の清掃を行う。
- (ウ) 下地調整塗材C-2を、1～2mm程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
- (エ) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗り付けることができる。
- (オ) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材CM-2を平滑に塗り付ける。
- (2) モルタル、せっこうプラスター及びプレキャストコンクリート面の下地調整は、次による。
- (ア) 下地面の清掃を行う。
- (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。ただし、仕上塗材の下塗材で代用する場合は、省略することがで

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

きる。

- (3) せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整は、次による。
- (ア) 表18.2.7 [せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ] のB種とする。
 - (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。
- (4) ALCパネル面の下地調整は、次による。
- (ア) 下地面の清掃を行う。
 - (イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。ただし、下地調整塗材Eで代用する場合は、省略することができる。
 - (ウ) 屋外は、仕上塗材の製造所の仕様により下地調整塗材C-1又は下地調整塗材Eを全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、外装薄塗材S仕上げの場合は、下地調整塗材C-2を全面に塗り付けて、平滑にする。
- (5) 押出成形セメント板面の下地調整は、次による。
- (ア) 下地面の清掃を行う。
 - (イ) 日本建築学会材料規格JASS 18 M-201[反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応硬化形合成樹脂シーラー]に基づく塗料を全面に塗り付ける。
- なお、仕上塗材の製造所の仕様により、下塗材をJASS 18 M-201に基づく塗料で代用することができる。